

News Release

《大丸・松坂屋の環境活動・低炭素社会への貢献》

8月から環境に配慮したショッピングバッグ・食品ポリ袋に 順次切り替えます

大丸松坂屋百貨店は、J.フロント リテイリンググループの一員として、グループサステナビリティ方針にもとづき、環境や社会に配慮した ESG 経営を推進し、地球環境の保全と社会課題の解決に取り組んでいます。

本年 3 月から、本社ビルでは、使用する電力の全てに水力由来の再生可能エネルギーを導入するなど、低炭素・循環型社会への取り組みを進めてまいりましたが、**本年 8 月より、大丸・松坂屋 16 店舗で使用する、大丸・松坂屋のショッピングバッグ、食品ポリ袋を環境に配慮した包装資材に順次切り替えます。**

1. 8 月より、食品売り場で使用する食品専用ショッピングバッグ（未晒） を環境配慮型紙製に順次切り替えます。

大丸・松坂屋では 2011 年 12 月より、食品専用ショッピングバッグ(未晒)を全社共通デザイン・仕様で導入しました。未晒のクラフト紙は、薬品等を使用せず素材そのものを使用するため環境に優しく、またナチュラルな色合いが食品のイメージを表すのに最適です。8 月より順次、使用する紙を FSC 認証を受けた紙に切り替え、紙の厚さを従来よりも薄くすることで、森林保護につながります。

【ご参考】2018 年度使用枚数は約 418 万枚でした。



2. 9 月より、大丸・松坂屋のショッピングバッグを環境配慮型紙製 に順次切り替えます。

大丸心齋橋店、梅田店を皮切りに、順次使用する紙を FSC 認証を受けた紙に切り替えることで、森林保護につながります。

【ご参考】2018 年度使用枚数は各サイズ合計で約 2,316 万枚でした。



3. 9 月より、大丸・松坂屋の食品ポリ袋を植物由来の原料を 30% 使用する製品に順次切り替えます。

大丸心齋橋店、梅田店を皮切りに、順次植物由来の原料を 30%使用する製品に切り替えることで、二酸化炭素の排出量を約 24%削減し、地球温暖化防止につながります。

【ご参考】2018 年度実績では、使用枚数（4 サイズ合計）約 3,845 万枚、石油由来の原料 100%で製造した場合の二酸化炭素排出量約 1,118 トンでした。



お問い合わせ先

大丸松坂屋百貨店 広報部 杉谷 TEL03-6895-0816 mail:kouhou@jfr.co.jp

